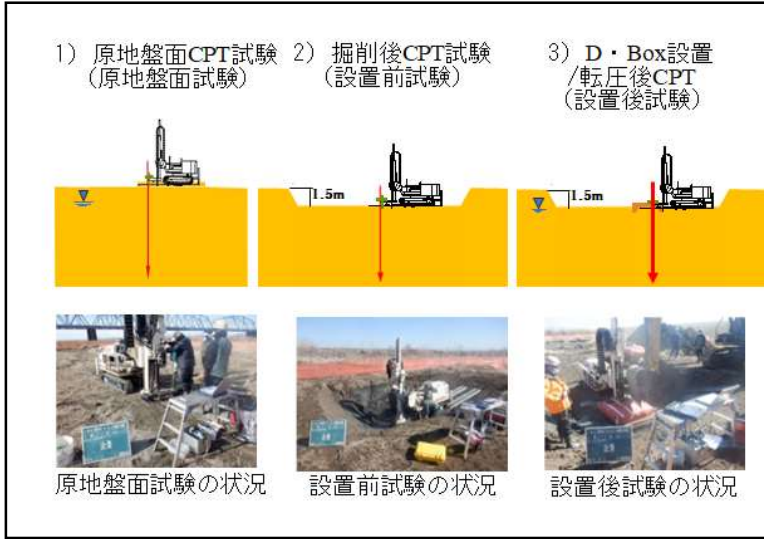
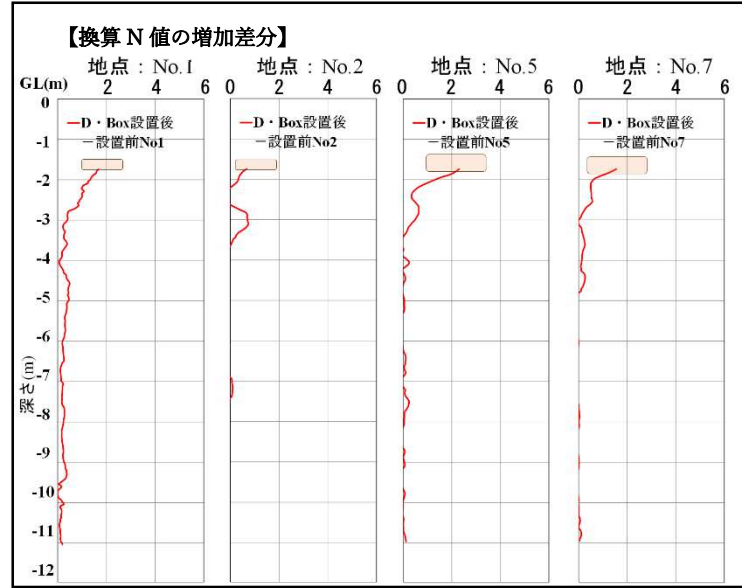


11月30日 第38回ジオシンセティックスシンポジウムにて、「電気式CPTによるD・Boxによる締固め効果の検証試験」についての論文（査読付）発表いたしました。  
 なお、発表に対して、D・Boxの主な用途や転圧方法等についての質問がありました。



検証試験状況（左から、原地盤、砂地盤、D・Box）



D・Boxによる地盤締固め効果（換算N値の増加）



D・Box 開発者の野本による発表

ジオシンセティックス論文集  
第38巻(2023.11)

【査読付き論文の概要】

## D・Boxによる軟弱地盤の締固め効果に関する検証試験

野本太<sup>1\*</sup>・嶋田宏<sup>2</sup>・花屋剛<sup>2</sup>・大里俊広<sup>2</sup>・岩佐隆<sup>2</sup>・岸田隆夫<sup>2</sup>

D・Box工法は、中詰材として碎石などを入れたD・Boxを地盤に設置し、転圧する事により地盤支持力を上げる工法である。これまで、D・Box施工後の地盤強度の確認についてはD・Box上面部での平板荷重試験や、落下式簡易支持力試験などにより確認してきた。本研究ではD・Box設置前と設置後の地盤状態を、三成分電気式コーン貫入試験(以下CPT試験)により比較したところ、D・Box下部の地盤では、予想以上に深い範囲までその影響があり、支持力が増加している事を確認した。

キーワード：D・Box工法、地盤の締固め、地盤補強、電気式CPT試験